

# 取り扱い説明書

ブレーキマスター共通①/④

\*取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

\*この取り扱い説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

\*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輛を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡し下さい。

## ブレーキマスターシリンダー

### ●横型ブレーキマスター一覧表

品番	シリンダー内径	配色マスター/レバー	品番	シリンダー内径	配色マスター/レバー	品番	シリンダー内径	配色マスター/レバー
61745	5/8インチ(15.8ミリ)	シルバー/クリアー	61760	14ミリ	ゴールド/クリアー	43336	1/2インチ(12.7ミリ)	ブラック/ブラック(ショート)
61746	5/8インチ(15.8ミリ)	ゴールド/ブラック	61740	14ミリ	ブラック/クリアー	49017	1/2インチ(12.7ミリ)	ブラック/クリアー(ショート)
61744	5/8インチ(15.8ミリ)	ゴールド/クリアー	61759	14ミリ	ブラック/ブラック	26854	11ミリ	シルバー/クリアー(ショート)
61747	5/8インチ(15.8ミリ)	ブラック/クリアー	61739	1/2インチ(12.7ミリ)	シルバー/クリアー	43337	11ミリ	ブラック/ブラック(ショート)
61738	5/8インチ(15.8ミリ)	ブラック/ブラック	61742	1/2インチ(12.7ミリ)	ブラック/クリアー	49016	11ミリ	ブラック/クリアー(ショート)
61741	14ミリ	シルバー/クリアー	61758	1/2インチ(12.7ミリ)	ブラック/ブラック			
61743	14ミリ	ゴールド/ブラック	26853	1/2インチ(12.7ミリ)	シルバー/クリアー(ショート)			

### ●左側専用横型ブレーキマスター一覧表

品番	シリンダー内径	配色マスター/レバー	品番	シリンダー内径	配色マスター/レバー	品番	シリンダー内径	配色マスター/レバー
49010	1/2インチ(12.7ミリ)	シルバー/クリアー	49015	1/2インチ(12.7ミリ)	ブラック/ブラック	49012	11ミリ	ブラック/ブラック
49014	1/2インチ(12.7ミリ)	ブラック/クリアー	49011	11ミリ	ブラック/クリアー	49013	11ミリ	シルバー/クリアー

※上の表にある品番はすべてアジャスト機能付です。

この度はデイトナ「ブレーキマスターシリンダー」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用前には必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店に御相談下さい。

#### <特徴>

- ・タンク別体のブレーキマスターシリンダーです。付属のステーで簡単にタンクが固定できます。
- ・ブレーキスイッチ、バックミラー（M10×P1.25/右ねじ）が装着できるミラーホルダー付き。Φ22.2ハンドル用。

#### <商品内容>

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	マスターシリンダーASSY		1	⑥	六角ナット	M6	1
②	バックミラーホルダー	M10×P1.25	1	⑦	スペーサー※2	φ15×φ6.5×25	1
③	タンクステー		1	⑧	フランジ付ボルト※2	M6×20	2
④	六角穴付ボルト	M6×20 (フロントマスターのみ)	2	⑨	六角穴付ボルト※2	M6×40	1
⑤	六角穴付ボルト※1	M6×15 (フロントマスターのみ)	1				

※1・・・M6×20が付属している商品もあります。 ※2・・・左側用ブレーキマスターのみに付属。

<注意事項>マスターシリンダー側に取り付けるバンジョーボルト（別売）はM10×P1.25をご使用下さい。

ノーマルが、M10×P1.25（HONDA、YAMAHA、KAWASAKIなど）の場合はそのまま使用可能。

M10×P1.0（SUZUKIなど）の場合は、別売品をお求め下さい。

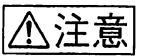
※左側用ブレーキマスターをクラッチマスターとして使用しないで下さい。左側用ブレーキマスターとクラッチマスターは内部の構造が異なります。左側用ブレーキマスターをクラッチマスターとして使用した場合、使用頻度やストロークの違いにより破損に繋がる恐れがあります。



#### 警告

ノーマル車のマスターシリンダーのピストン径をよくお確かめ下さい。取り付け車両のマスターシリンダー内径（刻印があります）を確認し、必ず同じサイズをお選びください。極端にピストン径が異なった場合には、ブレーキが正常に機能せず、衝突、転倒等の大怪我や事故につながる危険性があります。

- ・キャリバーを交換される場合は、そのキャリバーの指定のピストン径に従って下さい。
- ・デイトナ・NISSIN6POTキャリバーは、ピストン径5/8インチ（ダブルディスク車）、1/2インチ（シングルディスク車）が標準指定です。ダブルディスク車の場合、14mmも適応可能です。この場合、ブレーキタッチがソフトになり握り込む量が大きくなります。
- ・走行前に、レバーアジャストの位置を必ず調整して下さい。6段調整レバーの商品をご使用される際、車両によってはブレーキ液圧が十分に発生する前に、レバーがグリップに当たってしまう場合がございますので、レバーアジャスターの調整を行い、ブレーキ液圧が十分に発生し、尚且つレバーがグリップに接触しないレバー位置でご使用下さい。調整がきかない場合は別売の4段調整レバー（シルバー:品番23319 ¥3,780）又は（ブラック:品番27354 ¥3,780）をご使用ください。
- ・ブレーキフルードは車輛メーカーの指定するものをご使用下さい。
- ・ガスケットは、必ず新品に交換して下さい。（マスタシリンダー側の交換は、Wバンジョーで3枚、Sバンジョーで2枚必要）
- ・YAMAHA車の逆ネジタイプのノーマルミラーは、取り付けできません。逆ネジタイプのバックミラーステーを別でお求め下さい。
- ・RC30タイプのレバーを使用するとシリンダーが押されたままの状態になり、ペーパーロック等の原因になりますので指定レバー以外は絶対に使用しないで下さい。



#### 注意

ブレーキフルードが塗装面に付着しないようにして下さい。（塗装を傷めます）付着した場合はすぐに脱脂剤などで洗浄してください。

- ・取り付け作業は設備の整ったオートバイ店もしくは認証整備工場などの熟練した整備士に依頼してください。
- ・作業に入る前に必ず安全を確認した上で作業を行って下さい。
- ・完全にエアが抜けるまで確実にエア抜き作業をして下さい。



#### 警告

エアが残ったままの場合、ブレーキが効かず、衝突、転倒等の大怪我や事故につながる危険性があります。この商品は、予告無しに価格や仕様の変更をすることがあります。予め御了承下さい。

## ■ 取り付け手順 ■

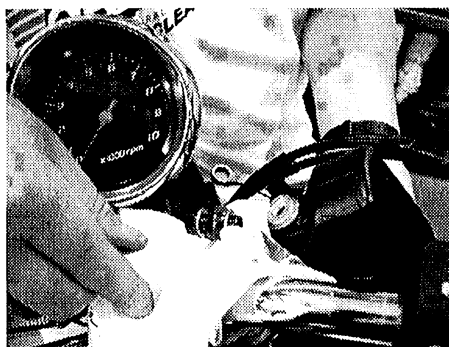
1. 純正マスターシリンダーから、バックミラー、ブレーキスイッチハーネスを接続部から外す。
2. 純正マスターシリンダーから、バンジョーボルト、ガスケット（×2）を外し、ブレーキホースを外します。

この際、ブレーキフルードが車体や衣服に付着しないよう、ウエス等で保護しながら作業を行って下さい。



3. 右図のように付属のキャップで純正マスターシリンダーのフルードが漏れないように栓をして下さい、また、ブレーキホース側はウエスなどでくるんでおきます。
4. 純正マスターシリンダーの取付ボルトを外し、車体から取り外します。

純正マスターシリンダーのフルードは必ず抜いて、脱脂してから保管して下さい。



5. ①マスターシリンダーを、②バックミラーホルダー、④六角穴付ボルト（M6×20）でハンドルバーに取り付けます。締め付けは上側のボルトを規定トルクで締め付けてから、傾きを調整しながら、下側を規定トルクで締め付けます。
6. ブレーキスイッチハーネスを接続します。



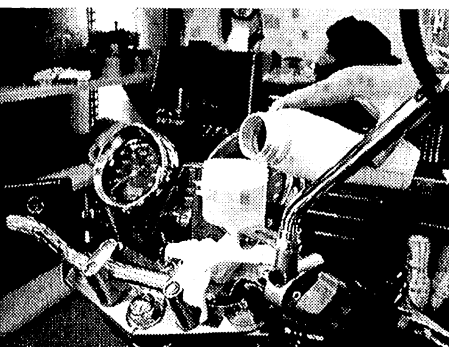
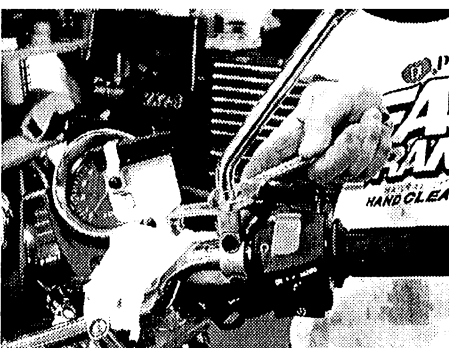
7. ③タンクステーに⑤六角穴付ボルト（M6）、⑥六角ナット（M6）で、マスターシリンダータンクを取り付けます。  
※左側用ブレーキマスターは③タンクステーと⑥六角ナット、⑦スペーサー、⑨六角穴付ボルトを使用して取り付けます。
8. ②バックミラーホルダーに③タンクステーを挟んで、バックミラーを取り付けます。

バックミラーの取付ネジは、M10×P1.25/右ネジ。

9. ブレーキホースをマスターシリンダーに取付けます。

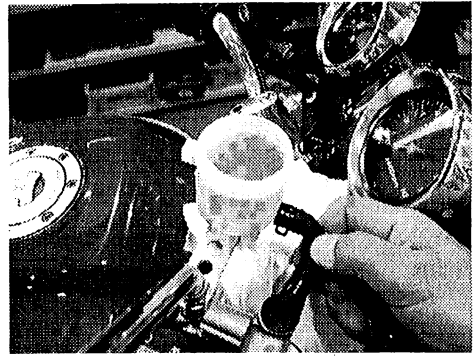
使用できるバンジョーボルトのサイズは、M10×P1.25。  
ガスケットは必ず新品をご使用下さい。

10. リザーバータンクのフタを外し、ブレーキフルードを注ぎます。



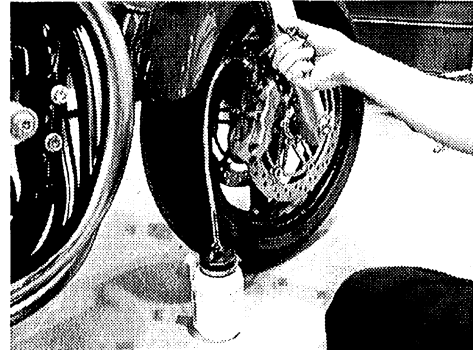
11. マスターシリンダーのタンクホースを握ったり、レバーを何度かストロークさせたりして、マスターシリンダー内のエアを上から逃がして下さい。
12. レバーに多少、にぎりしろが出るまで行って下さい。

エア抜き作業は、必ず認証整備工場等の整備士に依頼し、確実に行って下さい。  
使用するブレーキフルードは、メーカー指定品をお使い下さい。



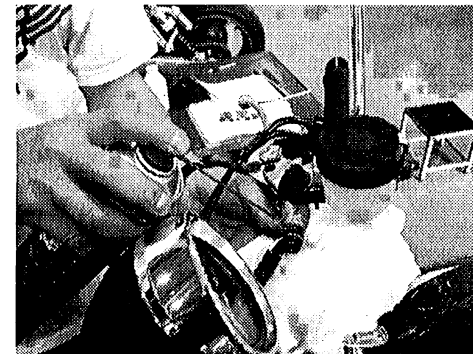
13. エア抜きのホースをエアブリーダーにつなぎ、レバーを何度かストロークさせ、握った状態で図のようにエアブリーダーをゆるめ、エアが出てきたらまた締めつけます。この作業を完全にエアが抜けきるまで何回か、行って下さい。

※左側専用マスターはリヤブレーキのエア抜きになる為、ブレーキホースが長くなり特にエアが抜け難くなっています。エアが完全に抜けるまで繰り返し行って下さい。



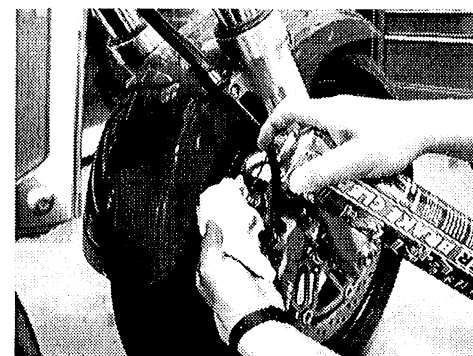
14. レバーを何度か、ストロークさせた後、タッチの確認、ブレーキの効きの確認を必ずして下さい。
15. レバー、バックミラーの位置、ストップランプの作動など、各部の確認を行って下さい。
16. ブレーキフルードをブレーキクリーナーなどで脱脂して下さい。

ブレーキフルードは、塗装を傷める恐れがありますので、完全に取り除いて下さい。

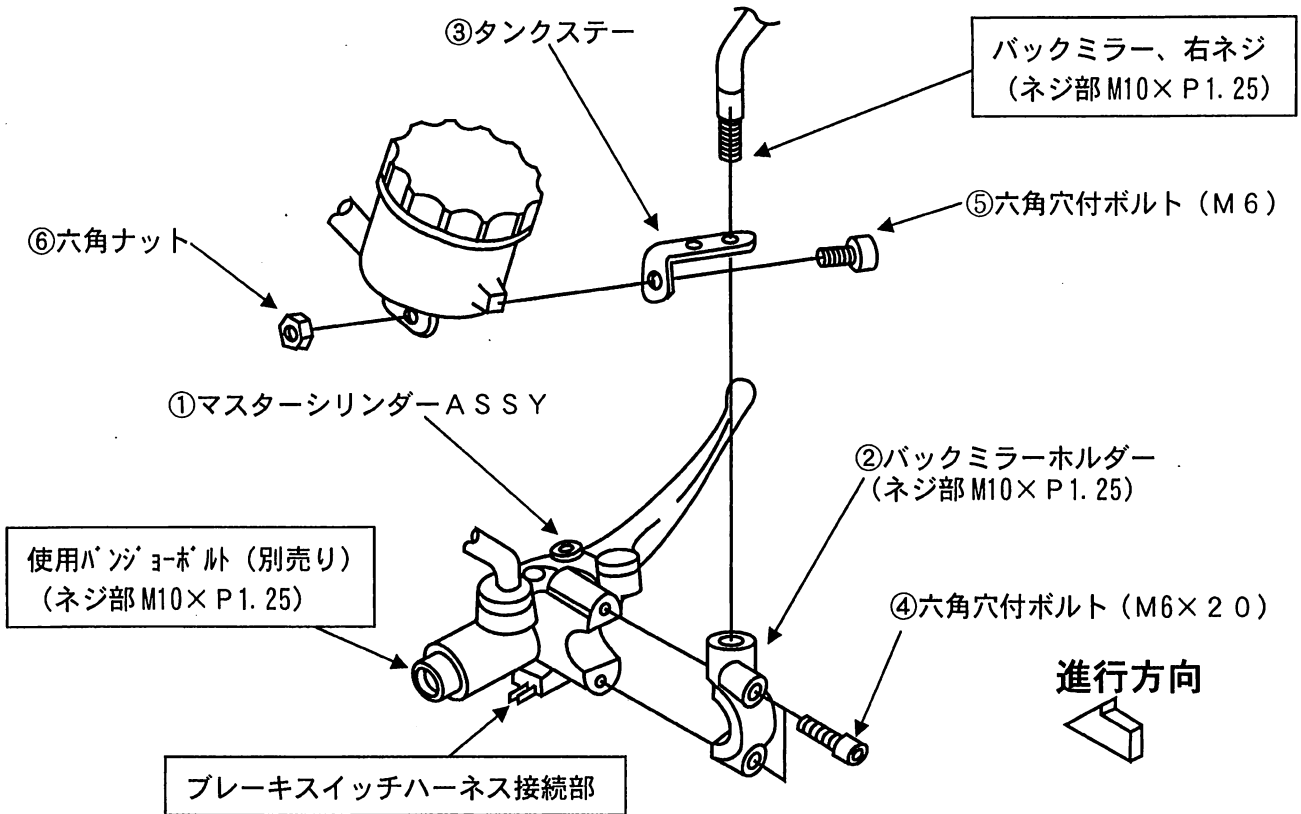


17. キャリパー側のブレーキフルードの脱脂も行って下さい。

エアブリーダー内部などのブレーキフルードが残りやすい箇所は、入念に脱脂して下さい。



■ 取り付け詳細図 ■



<補修部品>

品名	内容	5/8インチ	14mm	1/2インチ	11mm ショートレバー	1/2インチ ショートレバー	1/2インチ 左側専用	11mm 左側専用
ミラーホルダー	アイアンネイルシルバー塗装	(23255)¥1,575						
	ゴールド塗装	(28514)¥1,575						
	ブラック塗装	(36206)¥1,575						
ピボットボルト&ナット	ボルト,フランジナット 各1個	(23256) ¥263						
ブレーキスイッチ	スイッチ 1個	(23257)¥1,050						
リザーバータンク&ホース	タンク,キャップ,ダイヤフラム,プレート(ダイヤフラム),ストッププレート,スクリュー&ワッシャ,ホース 各1個	(36205)¥2,415			(23650)¥2,205			
マスターシリンダーリペアキット	ピストン,プライマリカップ,セカンダリカップ,スプリング,サーキット,ブーツ 各1個	(23259) ¥2,100	(24443) ¥2,100	(23655) ¥2,100	(23653) ¥2,415	(23655) ¥2,100	(23655) ¥2,100	(23653) ¥2,415
ブレーキレバー	クリアー塗装 (ノッカー含む)	(62286)¥4,200			(26855)¥5,775			
	ブラック塗装 (〃)	(62283)¥4,200			(43338)¥5,775			
	クリアー塗装 (ノッカーなし)				(23648) ¥2,730			
タンクステー	ステー (クリアーアルマイト)	(24341) ¥840						
	ステー (ブラックアルマイト)	(30895) ¥840						
ホースコネクタセット	コネクタ,リング,クリップ ラバーブーツ 各1個	(42428) ¥1,050						
ボルト&ナット (タンク固定用)	ボルト,ナット 各1個	(36211) ¥158						

- ・その他、取り付けに異常のないことを確認し、作業は完了です。取り付けは確実に行って下さい。また、走行中にネジ部等が緩まないように、規定トルクにて確実に締め付けて下さい。
- ・取り付け後、約100km 走行しましたら、各部を点検してネジ部の増し締めを行って下さい。その後は約500km 毎に必ず点検し、同様の増し締めを行って下さい。また、ブレーキパッドが擦り減ってくると、ブレーキのタッチが変わる場合がありますので、レバーアジャスターでレバーの調整行って下さい。

**△注意** 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行って下さい。

株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4 8 0 5 \*この用紙は再生紙を使用しております。

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955までお願い致します。

# どうしてもエアが抜けないお客さまにおすすめの

## エア抜きの手順です

### <利点>

この方法で行った場合、あらかじめ、すべてのオイルラインにフルードを満たすことにより、フルードをスムーズに導びく事ができます。(よび水効果)

### <通常のエア抜きキット以外に用意するもの>

- ・オイル差し
- ・エアブリーダーと同径のホース  
(オイル差しとエアブリーダーにつなぎ、オイル差しに圧力をかけても外れない程度のもの)
- ・配管用シールテープ

### <作業を行なって頂く前に、以下の事を調べて下さい>

#### ① マスターシリンダーが機能していますか？

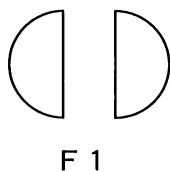
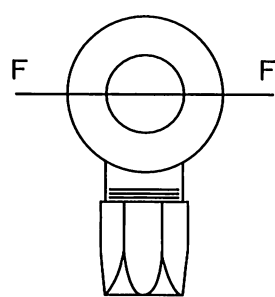
マスターシリンダー本体のリザーバータンク内にブレーキフルードを入れ、バンジョーボルトの取付部を指で押さえます。レバーを握るときは指を離し穴を開けておき、レバーを戻すときは指で穴をふさぎます。ブレーキフルードが出てこなければ、マスターシリンダー本体に問題があります。

#### ② ブレーキホースの取りまわし、オイルラインの詰まりはありませんか？

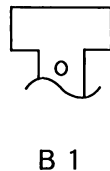
ブレーキ(クラッチ)ホース、バンジョーボルトなどのオイルラインが詰まっていますとオイル差しでフルードを送る際に、ブレーキフルードが出にくくなります。

また、バンジョーボルトとブレーキホースの組み合わせにも注意が必要です。(下図参照)

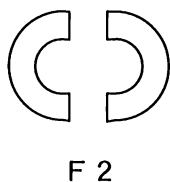
(注;クラッチホースは、長さの関係上、基本的にエアは抜けづらい傾向にあります。)



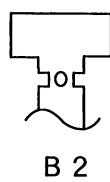
F 1



B 1



F 2



B 2

バンジョーフィッティング断面

バンジョーボルト断面

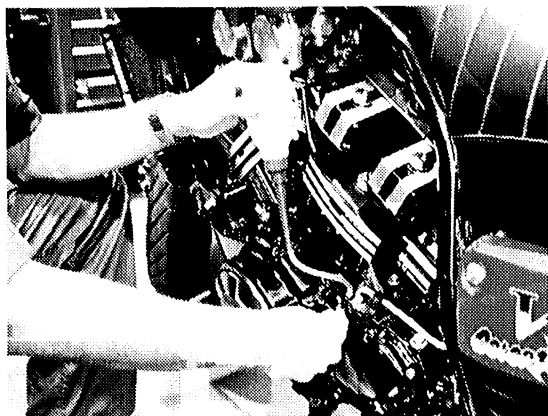
※F 1とB 1の組み合わせだと  
オイル通路が狭くなってしま  
うため、なるべくF 2かB 2の  
形状のものと組み合わせて使用  
して下さい。

#### ③エアブリーダーボルトが錆びたり、変形したりしてオイル通路をふさいでいませんか？

取り外して確認して下さい。オイルの通路をふさぐ原因となるエアブリーダーの錆び、オーバートルクによる変形がみられる場合は、直ちに交換して下さい。また、その際にエアブリーダー側ネジ山に白色テープ(配管用シールテープ)をまいてから組み付ければ、オイル差しで圧力をかけた時、にじみ防止になります。

作業後は、エアブリーダー内部はブレーキフルードが残りやすいので、入念に脱脂を行って下さい。

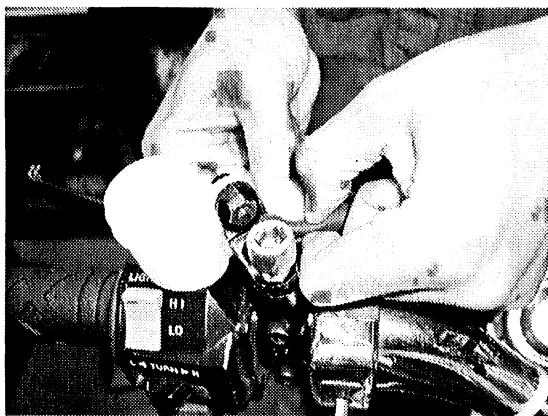
## <エア抜き手順（クラッチの場合）>



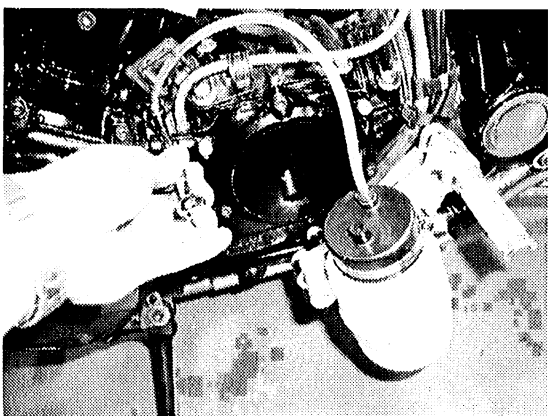
- ①市販のオイル差しにブレーキフルードを入れ、用意したホースをつなぎます。
- ②ホースをエアブリーダーにつなぎます。
- ③エアブリーダーをゆるめて、オイル差しをぎゅっとつまんでフルードを流し込みます。（写真左）



- ④しばらくするとマスターシリンダータンクからホース内のエアとともにブレーキフルードが出てきます。このときオイル差しを握り直しますとエアが混入しますので一気に流し込んで下さい。
- ⑤ブレーキフルードが穴よりも上にきたら、エアブリーダーを締め付け、ブレーキフルードをタンクに少し注ぎ足します。



- ⑥マスターシリンダーのタンクホースを指でつまんでタンクホース内のエアを上へ逃がします。  
この時点ですでに、レバーににぎりしろが出はじめます。この⑥の作業は、⑦通常のエア抜き作業の間も頻繁に行って下さい。リザーバータンクのホース内のエアをしっかりと逃がさないと、そのエアを下へ送ってしまいます。



- ⑦通常通りエア抜きの作業を行い、完全にエアを抜きます。